

# 発達に合わせた 子どもの感情コントロールの育て方

映像教材；合理的配慮②

公益社団法人 発達協会

言語聴覚士／公認心理師 湯汲 英史

## 自己紹介します

学生のころから(1978年)、障害児の自主保育グループに参加。卒業後も、発達指導を続ける。

公益社団法人 発達協会(1982年設立)

【医療】発達障害専門のクリニックを運営(1992～)

毎日80名余が利用

【療育】発達障害のある子や人対象(600名:1976～)

【啓発】出版(70種の本、映像教材など)

研修(年間5千名が受講)※コロナで休止中

【調査研究】国などから委託や補助研究

## 自己紹介します②

社会福祉法人 さざんかの会(2000年設立)

【授産事業】(1988年～)三つの小規模作業所の運営  
(2012.4.1～)就労移行支援事業をスタート、現在2ヶ所で実施

(2016.11～)グループホームを開設

※2020年より: 重度・重複障害の人たちのGHを開設

(2017.8～)食の事業を拡大、カフェの開店

※お弁当製造 毎日100食 スウィートの製造販売

# 現在の主な仕事

練馬区保育園巡回相談員

西東京市学童クラブ 相談員

王子第特別支援学校 評議員

東京都知的障害者手をつなぐ育成会 評議員

## 2法人の職員構成(72名)

※有資格者には重複あり

### (医療)

医師:9名 看護師:2名 臨床検査技師:2名

### (リハビリ)

言語聴覚士:26名 作業療法士:2名

公認心理師:23名

### (療育・福祉)

社会福祉士:28名 精神保健福祉士:18名

介護支援専門員4名、臨床心理士2名

変容している家族と子育て

## 九州、山陰、東北のママが比較的若く、29歳で産み始める

都道府県・政令指定都市別の初産平均年齢を見ると、一番ママが若かったのは福島県で29歳でした。これは一番年齢が高い東京23区の32.2歳と較べると、何と3.2歳の開きがあります。（女性平均：30.7歳：韓国、イタリアにつぎ、世界3位）

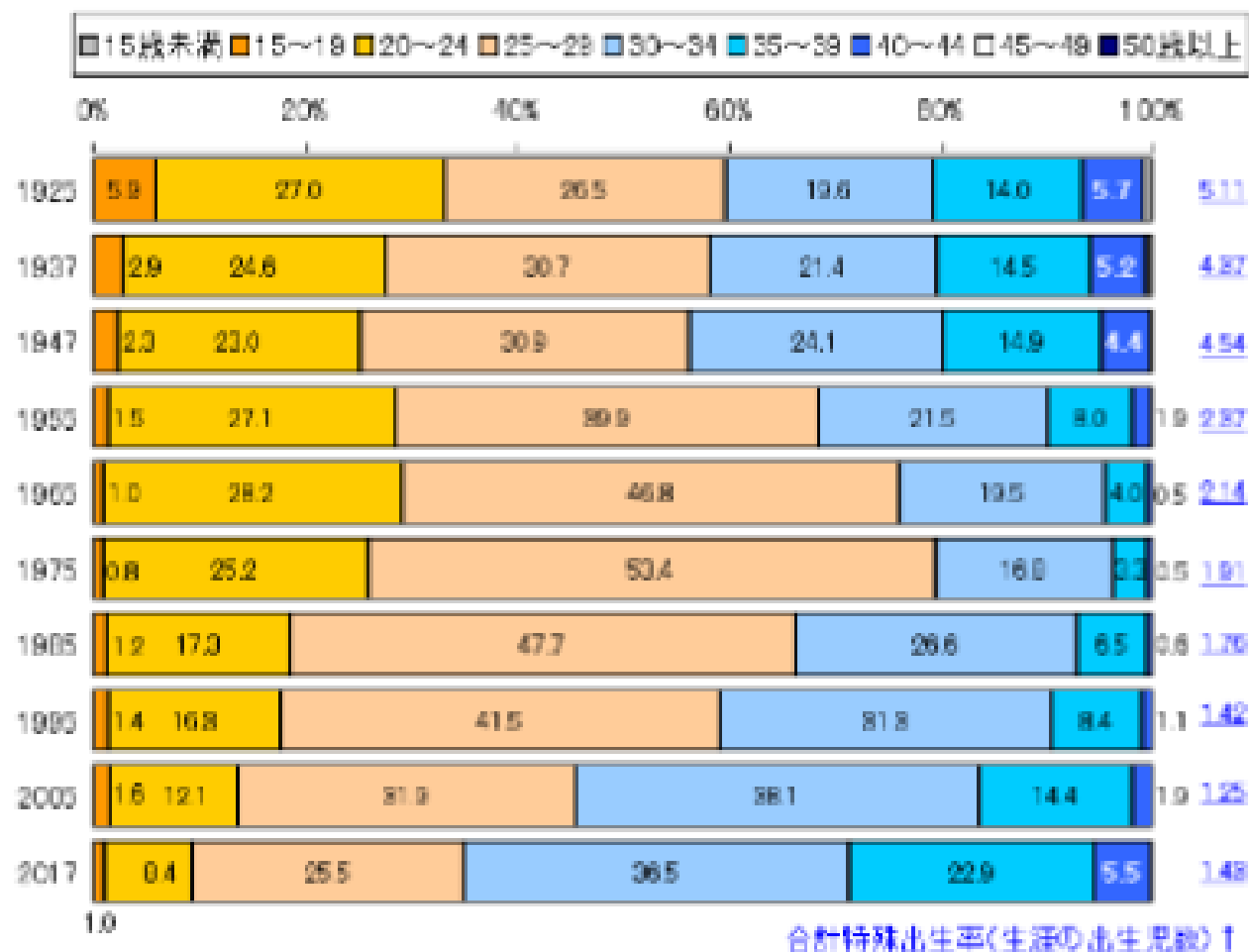
福島に次いで若い県を順に見ていくと沖縄、岩手、愛媛、佐賀、宮崎、熊本、青森、山口、鹿児島をはじめ九州、山陰、東北が多く、29歳台となっています。

## 東京都の初産婦さんは平均32歳

逆に都市部の初産平均年齢はかなり高くなっています。先の「東京都区部32.2歳」という数値や東京都全体の32歳という数値は特に高く、他の都市に較べても突出しています。

これに続くのは神奈川県で、県全体では30.3歳でした。一部にはかなり高いところもあり、川崎市は31.8歳、横浜市は31.6歳でした。さいたま市も30.3歳となっています。

## 母親の年齢別にみた出生数の割合



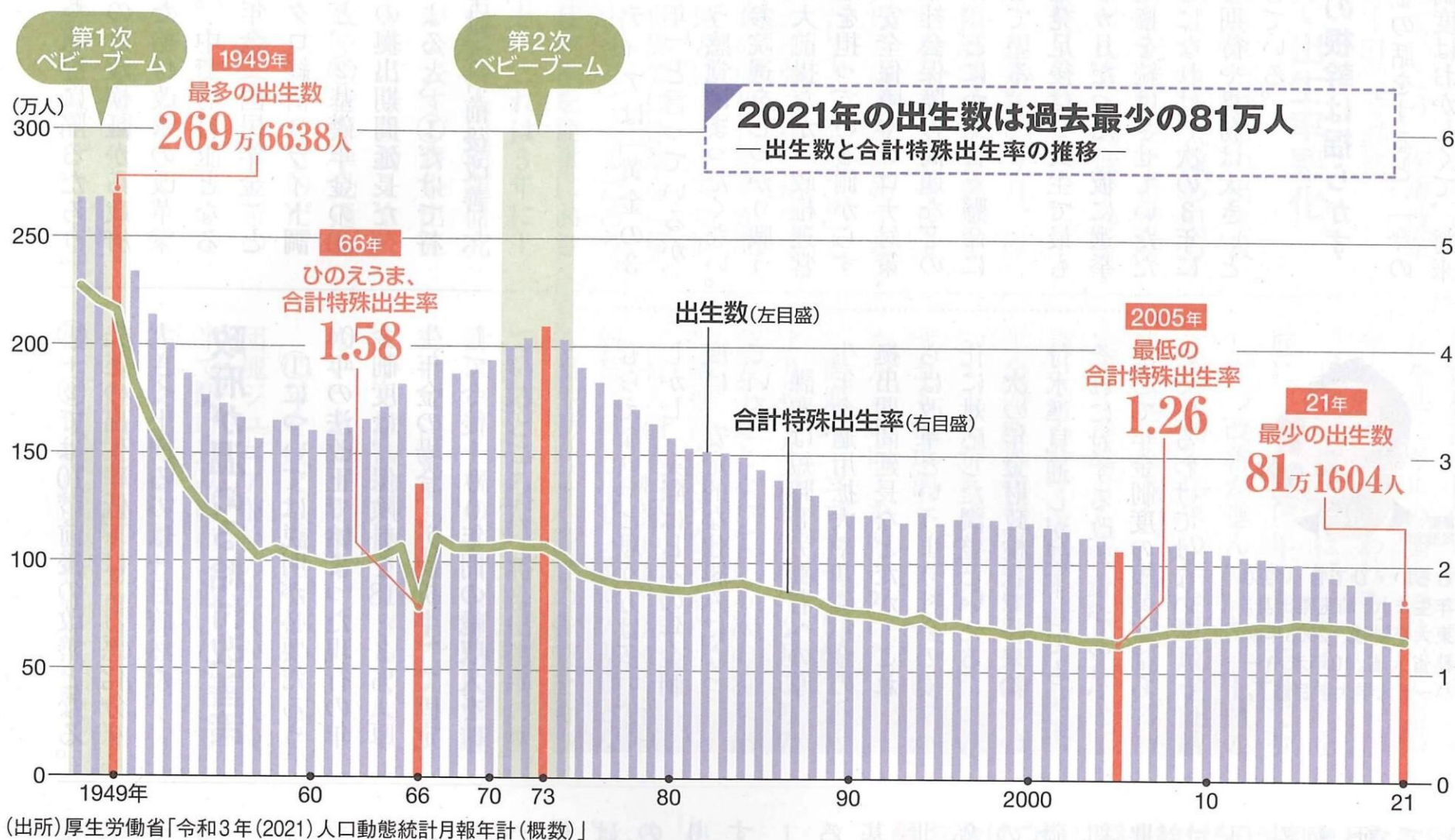
(注)15歳未満、45～49歳、50歳以上の数値表示は省略(2017年は、それぞれ、0.0%、0.2%、0.0%)

(資料)厚生省「人口動態統計」、社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2006」

表2-1 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数の年次対

| 母の年齢  | 出生数       |           |           |           |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|       | 平成20年     | 平成21年     | 平成22年     | 平成23年     |
| 総数    | 1 091 156 | 1 070 035 | 1 071 304 | 1 050 698 |
| ～14歳  | 38        | 67        | 51        | 44        |
| 15～19 | 15 427    | 14 620    | 13 495    | 13 273    |
| 20～24 | 124 691   | 116 808   | 110 956   | 104 053   |
| 25～29 | 317 753   | 307 765   | 306 910   | 300 350   |
| 30～34 | 404 771   | 389 793   | 384 385   | 373 452   |
| 35～39 | 200 328   | 209 706   | 220 101   | 221 245   |
| 40～44 | 27 522    | 30 566    | 34 609    | 37 435    |
| 45～49 | 594       | 684       | 773       | 802       |
| 50歳以上 | 24        | 20        | 19        | 41        |

注・総数には母の年齢不詳を含む。



孤立する家族

# 育児情報の不足

(核家族) 祖父母の育児への関与が低下

「おばあさん仮説」

○遠慮して言えない

○孫の面倒はしんどい(祖父母の高齢化)

(横のつながり不足)

○母親同士の年齢の広がり、共感の問題

# 孤立する育児

タテとヨコの糸が無くなった

◎タテの糸（祖母－親－子ども）

◎ヨコの糸（母親同士のつながり）

すすめたい「ママ会」「ファミサポ」「地域活動」

(1) 妻が何度注意しても服は子どものようにリビングに脱ぎっぱなし！

(2) 妻が「ねえ、今日は子どもの迎えに行ってくれない？」と頼んでもゲーム機に夢中になり、「今、いいところだから、もうちょっとだけやらせて」と家族よりも自分の趣味を優先する

(3) 妻が「換気扇とかベランダとかやってほしいところがあるんだけど」と家事を頼んでも、やりたくないことはいっさいしないで、「だから、やったの！」などと、しまいにはスネてしまう。

(4) 帰宅するとゲーム部屋にこもり、家族のことなどおかまいなし。テレビやゲームを楽しんでいる。妻は「激しくマイペース。幼稚園生だってここまで自己チューじゃない。夫としても大人としてもどうなのか」と憤る。

こんなガキのような困った行動をする夫を「**ガキ夫**」と名付けることにしたという。「あさイチ」が行なったアンケート調査では、**8割の女性が自分の夫が「ガキ夫」**だと回答し、半数以上の女性が悩んでいることが判明したという。'''

NHK 「あさイチ」より

# 過剰診断の問題

○ADHDと早すぎる診断

○年齢とともに落ち着いていく

○状態像が変わる

# 発達の目的

## ◎自己形成(理解の発達)

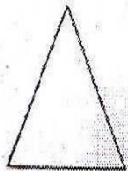
・・・自分で考え、判断し、行動できるようになること

## ◎社会化(関わりの発達)

・・・判断したことを、まわりに受け入れられるもので表現できるようになること

# 手指を使わず、視覚情報が優位になった結果？

## 発達が遅くなった描画



図版を提示し、  
「これと同じものを書いてください」  
と尋ねる

(即時模倣・手指の巧緻性の発達)

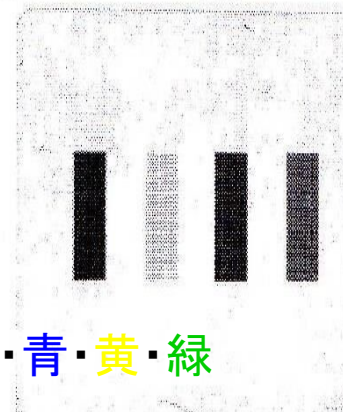
|       | 1983年  | 2001年  | 遅れ   |
|-------|--------|--------|------|
| 円模写   | 2歳 7ヶ月 | 2歳10ヶ月 | 3ヶ月  |
| 正方形模写 | 3歳11ヶ月 | 4歳 5ヶ月 | 6ヶ月  |
| 三角形模写 | 4歳 8ヶ月 | 5歳 4ヶ月 | 8ヶ月  |
| 菱形模写  | 6歳 3ヶ月 | 7歳 3ヶ月 | 12ヶ月 |

## 発達が速くなった色の名称

|      | 1983年  | 2001年  | 変化(促進) |
|------|--------|--------|--------|
| 3つの色 | 3歳 6ヶ月 | 2歳11ヶ月 | 7ヶ月    |
| 4つの色 | 4歳 1ヶ月 | 3歳 3ヶ月 | 10ヶ月   |

右の図版を提示し  
「これは何色ですか」と尋ねる

視覚的な色の認知と  
ことばの発達



赤・青・黄・緑

平成24年12月5日  
文部科学省初等中等教育局  
特別支援教育課

通常の学級に在籍する  
発達障害の可能性のある  
特別な教育的支援を必要とする  
児童生徒に関する調査結果について

表2 質問項目に対して担任教員が回答した内容から、知的発達に遅れはないものの学習面、各行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合 推定値（95%信頼区間）

|                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| A：学習面で著しい困難を示す              | 4. 5%（4. 2%～4. 7%） |
| B：「不注意」又は「多動性－衝動性」の問題を著しく示す | 3. 1%（2. 9%～3. 3%） |
| C：「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す     | 1. 1%（1. 0%～1. 3%） |

※95%信頼区間：母平均が、95%の確率で（～）の間に含まれるということ

表6 質問項目に対して担任教員が回答した内容から、知的発達に遅れはないものの学習面、各行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の学校種、学年別集計

<小学校>

|      | 推定値<br>(95%信頼区間)      |                     |                     |                     |
|------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|      | 学習面又は行動面で<br>著しい困難を示す | A                   | B                   | C                   |
| 小学校  | 7.7%<br>(7.3%~8.1%)   | 5.7%<br>(5.3%~6.0%) | 3.5%<br>(3.2%~3.7%) | 1.3%<br>(1.1%~1.4%) |
| 第1学年 | 9.8%<br>(8.7%~10.9%)  | 7.3%<br>(6.5%~8.3%) | 4.5%<br>(3.9%~5.3%) | 1.5%<br>(1.1%~1.9%) |
| 第2学年 | 8.2%<br>(7.3%~9.2%)   | 6.3%<br>(5.6%~7.1%) | 3.8%<br>(3.2%~4.5%) | 1.5%<br>(1.1%~2.0%) |
| 第3学年 | 7.5%<br>(6.6%~8.4%)   | 5.5%<br>(4.8%~6.3%) | 3.3%<br>(2.8%~3.9%) | 1.0%<br>(0.7%~1.3%) |
| 第4学年 | 7.8%<br>(6.9%~8.8%)   | 5.8%<br>(5.0%~6.6%) | 3.5%<br>(2.9%~4.2%) | 1.2%<br>(0.9%~1.7%) |
| 第5学年 | 6.7%<br>(5.9%~7.7%)   | 4.9%<br>(4.2%~5.7%) | 3.1%<br>(2.6%~3.7%) | 1.1%<br>(0.9%~1.5%) |
| 第6学年 | 6.3%<br>(5.6%~7.2%)   | 4.4%<br>(3.8%~5.1%) | 2.7%<br>(2.2%~3.3%) | 1.3%<br>(1.0%~1.7%) |

<中学校>

|      | 推定値<br>(95%信頼区間)      |                     |                     |                     |
|------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|      | 学習面又は行動面で<br>著しい困難を示す | A                   | B                   | C                   |
| 中学校  | 4.0%<br>(3.7%~4.5%)   | 2.0%<br>(1.7%~2.3%) | 2.5%<br>(2.2%~2.8%) | 0.9%<br>(0.7%~1.1%) |
| 第1学年 | 4.8%<br>(4.1%~5.7%)   | 2.7%<br>(2.2%~3.3%) | 2.9%<br>(2.4%~3.6%) | 0.8%<br>(0.6%~1.2%) |
| 第2学年 | 4.1%<br>(3.5%~4.8%)   | 1.9%<br>(1.5%~2.3%) | 2.7%<br>(2.2%~3.3%) | 1.0%<br>(0.7%~1.3%) |
| 第3学年 | 3.2%<br>(2.7%~3.8%)   | 1.4%<br>(1.1%~1.9%) | 1.8%<br>(1.4%~2.3%) | 0.9%<br>(0.6%~1.3%) |

学年が上がるにつれて減少する

# 1. 情の発達

表2-4 子どもの自立(分離 - 個体化)に向けた4つの段階と子どもの行動

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>分化期<br/>(3～8か月)</p>    | <p>子どもが、周りの人や物に関心を示すとともに、自分の身体と親の身体を区別し始める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 周りの人や物に注意を向け、注意が持続する</li> <li>② 腰が据わると、母親に抱かれているときに母親から上体をそらして身体を離す</li> <li>③ 母親に抱かれていながら母親の髪の毛や顔にさわったりする</li> <li>④ 母親が身につけている眼鏡やブローチ、ペンダントに興味を示してつかむ</li> </ul> |
| <p>練習期<br/>(8～15か月)</p>   | <p>母親との安定した関係が形成され離れる練習をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 母親との情緒的結びつきが形成されている</li> <li>② 母親から離れて遊ぶがときどき母親のもとへ戻ってくる</li> <li>③ 歩けるようになると、子どもの方から隠れたり飛び出したりする。また、隠れてイナイ・イナイ・バーをしてみせる</li> </ul>                                                |
| <p>再接近期<br/>(15か月～2歳)</p> | <p>親とは別個の自分を意識すると同時に、そのような自分に対する母親の反応を確認するための行動が増える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 抱っこやおんぶを求めることが強くなる一方で、抱かれることやおんぶされることを拒否する</li> <li>② 母親に追いかけられ抱き上げられることを期待して母親から逃げ出す</li> <li>③ 母親に、自分の楽しみや遊びなどを同じようにすることを求める</li> </ul>                 |
| <p>個体化期<br/>(2～3歳)</p>    | <p>愛情を向ける親イメージを心の中に取り込み、親が目の前にいなくても存在することが理解される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 親と離れて友だちと遊んでいられる時間が増えてくる</li> <li>② 抵抗や反抗のように見られることもあるが、「自分でやる」と主張する</li> </ul>                                                                               |

(マラーらにしたがって吉田が作成)

表2-3 安定した結びつきを作る相互作用

- 1 赤ちゃんとの身体接触が多い。赤ちゃんの不安や苦痛を抱いてなだめる
- 2 赤ちゃんの泣きや笑いに対して感度よく情緒的に応答する
- 3 赤ちゃんの疲れや目そらしに敏感に反応し、疲れさせないようにかかわる
- 4 赤ちゃんが何を訴えているのかを理解し、適切に対応する
- 5 赤ちゃんにとってわかりやすいように、一貫性のある態度で接する

表2-2 アタッチメントの形成過程

|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1段階<br>出生から4か月まで        | 親だけでなく、人に対して関心を示す時期<br>人の顔を見たり、声を聞いたり、抱かれることを好む                                                                                                                                                                                                                                                |
| 第2段階<br>4か月から<br>6、7か月まで | 母親のようにいつも世話をしてくれる人に対して関心を示し、関係を作る行動がはっきりし、増えてくる時期<br>笑ったり、泣いたり、しがみついたりすることを好む<br>目で追う「後追い」、親を呼び寄せようとする「うそ泣き」も見られるようになる                                                                                                                                                                         |
| 第3段階<br>6、7か月から<br>2、3歳  | 心の結びつきがはっきりしてきて、アタッチメントが形成される時期<br>母親のようにいつも世話をしてくれる人を識別して、その人に心を寄せていることが明確になる<br>後追いや人見知り、母親を喜んで出迎えるなど、結びつきがはっきりとわかる<br>母親とのアタッチメントが形成されたことを具体的に示す行動<br>① 母親が見えなくなると泣き出す、母親の後を追う<br>② 泣いているときに、他の人ではだめでも母親があやすと泣き止む<br>③ 知らない人に出会えると母親にしがみつく<br>④ 母親から離れて遊んでいても、不安になると母親のところにもどる、母親を安全基地として使う |
| 第4段階<br>3歳以降             | 次第に母親にまわりつくことが減ってきて、必要なときのみ母親にまわりつく<br>次第に母親から離れて友だちと遊ぶ時間が増えてくる<br>一方、恐いとき、不安なとき、疲れたとき、体調がわるいとき、愛情に不安を感じたときには近くに来て不安を鎮めようとする                                                                                                                                                                   |

表9 アタッチメントパターンとそのパターンごとの母親の特徴

|                                                                                                                       |                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>〈Aタイプ（回避型）〉</p> <p>分離場面では不安を示さない。再会場面での母親への接近や相互交渉を回避する。ストレンジャーにも同じように回避する傾向がある。</p>                               | <p>〈Aタイプの母親〉</p> <p>子どもの働きかけに拒否的に振舞うことが多く、微笑や身体接触が少ない。子どもの行動を強く統制しようとする働きかけが見られる。</p>                      |
| <p>〈Bタイプ（安定型）〉</p> <p>初めての場面でも、母親の存在で安心し、活発に探索する。分離場面では不安を示す。母親との接近や接触を積極的に求める。ストレンジャーによって慰められるときもあるが、母親の方に関心を持つ。</p> | <p>〈Bタイプの母親〉</p> <p>子どもの欲求や状態の変化に敏感であり、子どもに対して無理な働きかけをすることが少ない。子どもとの相互交渉は円滑で、遊びや身体接触を楽しんでいる様子が見える。</p>     |
| <p>〈Cタイプ（アンビバレント型）〉</p> <p>分離場面では強い不安を示す。再会場面で母親との接触を求めるが、同時に抵抗や怒りを示したり、探索への回復がみられない。</p>                             | <p>〈Cタイプの母親〉</p> <p>子どもへの敏感さが相対的に低く、子どもの行動や情動状態を適切に調整することが不得手である。子どもに対する反応が一貫性を欠いたり、タイミングが微妙にずれることが多い。</p> |
| <p>〈Dタイプ（無秩序・無方向型）〉</p> <p>激しいアタッチメント行動の後に突然回避行動が現れるなど、一貫性のない矛盾した行動を取る。</p>                                           | <p>〈Dタイプの母親〉</p> <p>心的外傷や抑うつ傾向をもつ母親、または日頃から子どもを虐待しているような母親が多い。</p>                                         |

出所：Ainsworth, M. D. S., *et al.*, 1978.

## 2. 意の発達

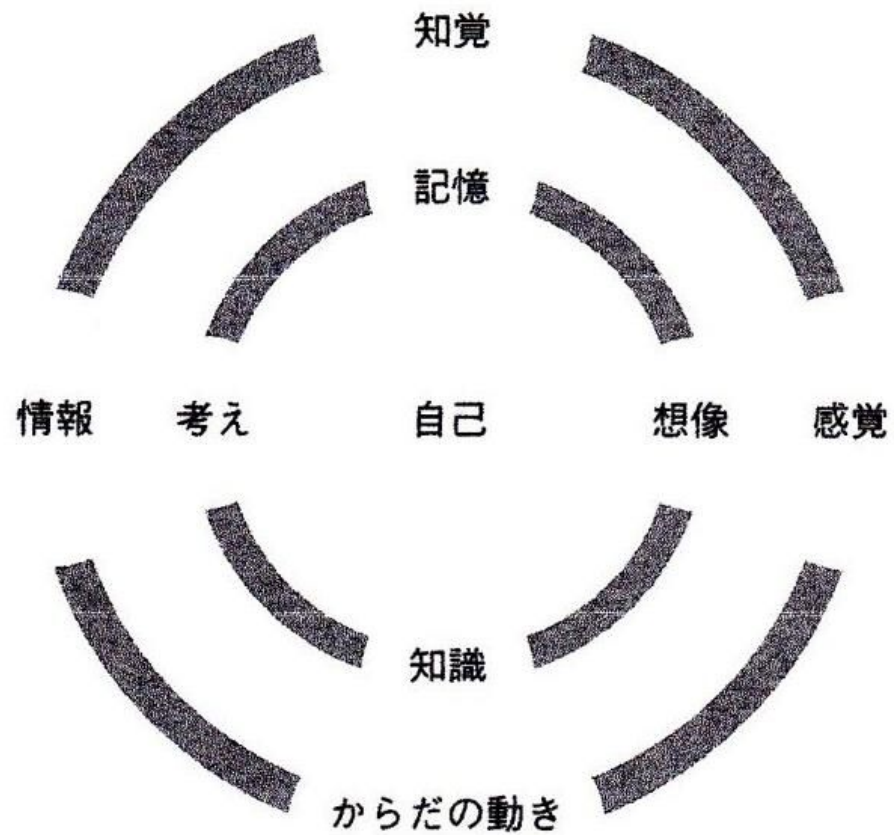


図2-3 自己の組織化

表2-5 自己、自我の発達過程

|       | 自己                                                                                                                                           | 自我                                                                                                                                                     |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 乳児期前期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己感をもつようになる</li> <li>・一方で、合わせる自己、偽りの自己ができ始めることがある</li> </ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹がいっぱいになるとミルクを飲むのを止める(主体性2か月頃)</li> </ul>                                                                     |
| 乳児期後期 |                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食の好き嫌いをする(主体性)</li> </ul>                                                                                    |
| 1歳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知的自己ができ始め、鏡の前に立って自分の姿を映し、帽子をかぶったり、ポーズをつけたりして遊ぶ</li> <li>・自己概念ができ始め、自分の名前がわかり、いい子であると認識する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・親の顔をうかがいながらいたずらをする(主体性、独自性)</li> <li>・食べものの好き嫌いをする(主体性)</li> <li>・「いけない」といわれると、ふざけて、かえってやる(主体性、独自性)</li> </ul> |
| 2歳    |                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分でやる」といって頑張る(主体性)</li> <li>・言い聞かせると我慢して待つ(コントロール)</li> </ul>                                                 |
| 3歳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の性別を理解できる(認知的自己)</li> </ul>                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・うそをつく、どんぐりや石などをポケットに入れて集める(秘密・独自性)</li> <li>・性別に合った役になってごっこ遊びをする(同一性)</li> <li>・遊ぶとき順番を守る(コントロール)</li> </ul>   |
| 4歳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほめられると得意になって説明する</li> <li>・友だちに自慢する</li> </ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと主張したり、妥協したりして遊ぶ(コントロール)</li> </ul>                                                                         |
| 5歳    |                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな物を集めて貯めている(独自性)</li> </ul>                                                                                  |

### 3. 知の発達

表2-7 言葉と知的発達

|       | 言葉                                                                                                                                                                                                                                    | 知的能力                                                                                                                                                                        | 知能の発達段階     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 乳児期前期 | ・喉の奥から出る母音ア、ウの音を出す                                                                                                                                                                                                                    | ・がらがらを振ったりしゃぶったりを繰り返す                                                                                                                                                       | 感覚・運動的知能の段階 |
| 乳児期後期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・舌が口の中に納まるようになり、唇が閉じるようになる6か月頃から、唇を使った m,p,b の子音と a,u がくっついて、マ ma, パ pa, バ ba, ブ bu の発音をするようになる</li> <li>・8か月頃から、お手てばちばち、こんにちは、などの動作をまねるようになる</li> <li>・同じ頃、パパ、ババ、ブーブーなどの音をまねるようになる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓やピアノなどのおもちゃの楽器を鳴らす</li> <li>・自動車のおもちゃを押して遊ぶ</li> <li>・物を手にして、たたいたり、しゃぶったり、見つめたりすることを繰り返す「調べ行動」をする</li> <li>・面白い顔に対して笑う</li> </ul> |             |
| 1歳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指さしをして教える</li> <li>・意味をわかって、ママ、パパ、ブーブーなどという</li> </ul>                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝たふりをする</li> <li>・スイッチに興味をもつ</li> </ul>                                                                                             |             |
| 1歳半   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語が増える</li> <li>・ごによごによごと独り言(ジャルゴ)をいう</li> </ul>                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見立て遊びをする</li> <li>・高いところの物を取るのに台をもってくる</li> </ul>                                                                                   |             |
| 2歳    | ・2語文が話せる                                                                                                                                                                                                                              | ・ままごとでお料理をする                                                                                                                                                                |             |
| 2歳半   | ・3語文が話せる                                                                                                                                                                                                                              | ・なぐり描きをする                                                                                                                                                                   | 前操作的知能の段階   |
| 3歳    | ・自分の姓名をいう                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・積木でトンネルを作る</li> <li>・なぐり描きをして「ママ」などという</li> </ul>                                                                                   |             |
| 3歳半   | ・見聞きしたことを他の子に話す                                                                                                                                                                                                                       | ・顔を書いて目や鼻をつける                                                                                                                                                               |             |
| 4歳    | ・経験したことを親や先生に話す                                                                                                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色の名前がわかる</li> <li>・長い短いがわかる</li> <li>・大きいのが小さいということがわかる</li> </ul>                                                                  |             |
| 4歳半   | ・前後上下を理解する                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                             |             |
| 5歳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない字があると大人に聞く</li> <li>・数字を拾い読みする</li> <li>・自分の名前をひらがなで書く</li> <li>・さいころの数がわかる</li> <li>・左右がわかる</li> </ul>                                                                                  |                                                                                                                                                                             | 具体的操作の知能の段階 |
| 6歳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなをほとんど読む</li> <li>・曜日がわかる</li> </ul>                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                             |             |
| 7歳    | ・時計を見て時間がわかる                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                             |             |

# 言動に影響する因子

## ○性格

穏やか、やさしい、きつい、素直、まじめ、ゆかい、など

## ○気質

人間ひとりひとりの特有な心理的特徴は、一般に性格と呼ばれるが、この性格が環境からの影響を受けて後天的に形成されるものであるのに対し、その基礎にあって生物学的に規定されていると考えられる生来性の特質が気質である。

おだやか、はげしい、のんびり、せっかち、あわてんぼう、など

## ○嗜好

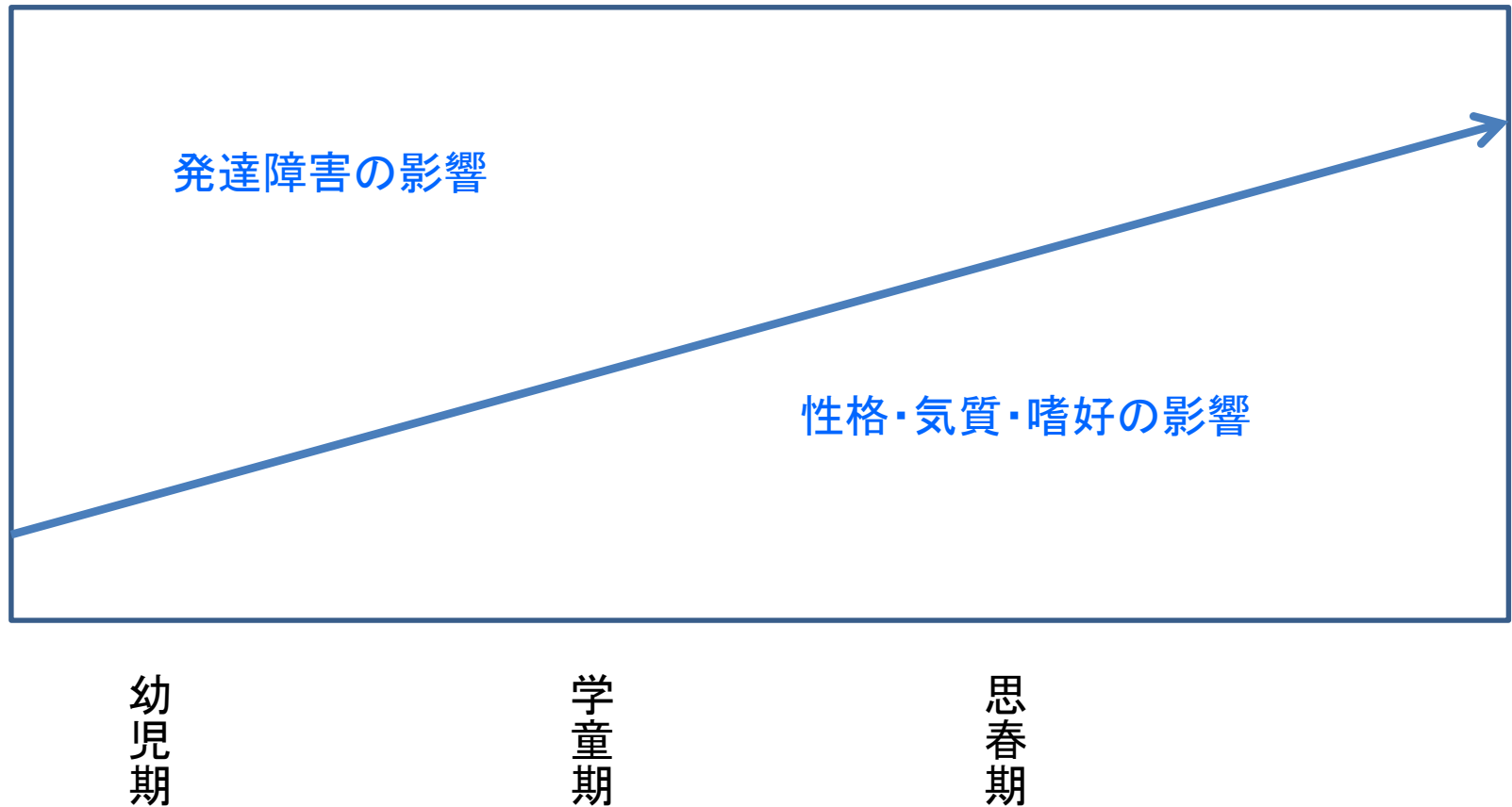
表 10 育てやすさ、育てにくさの理由

|          |         | 1 歳まで                                                          |                 |
|----------|---------|----------------------------------------------------------------|-----------------|
| 育てやすさの理由 | 身体運動    | 健康，病気をしない<br>身体発達が良好<br>運動機能の発達が良好                             |                 |
|          | 日常生活の世話 | 手がかからない                                                        |                 |
|          |         | 睡眠                                                             | よく眠る<br>夜泣きしない  |
|          |         | 食事                                                             | 乳をよく飲む<br>離乳が早い |
|          |         | 排泄                                                             | オシメが早くとれる       |
|          |         | 他                                                              | 抱きぐせなし<br>風呂好き  |
|          | 対人面     | 人見知りしない<br>人なつこい                                               |                 |
|          | 行動の特性   | ぐずらない，泣かない，<br>よく遊ぶ，よく笑う，<br>おっとりしている                          |                 |
| 育てにくさの理由 | 他       | 育児に慣れている                                                       |                 |
|          |         | 発育遅滞，病気，<br>夜泣き，寝ない，<br>ミルクを飲まない，<br>人見知り，神経質，<br>離乳の失敗，うろうろする |                 |

出所：上原ら，1981 年。

高橋靖子「子どもの気質」②

# 成長と性格・気質・嗜好の関係



## 4. 社会性の発達

関わりことばとは？

# MOTTAINAI

○水を出しっぱなしにしない

○電気をつけたままにしない

○ティッシュを何枚も使わない

→なぜならばMOTTAINAI

# 言動を規定する判断基準

○4歳前後からわかってくる「もったいない」  
→無駄遣いができなくなる

○「**関わりことば**」は、人や物、自分自身との関わり方を既定する**考え方、判断基準**である

# 要求しない自閉的な子ども

せがむ: あそんで

ねだる: キャッチボールしよう

要求する: ~してください

確認する: 「していい？」

大人への要求→受容れ→愛着の発生と安定

# 切羽詰った自閉症の子の表現

普通に要求できない子

切羽詰って表現

大声を出す

泣き叫ぶ

自傷行為

跳びはねる

威嚇 など

・・・以上の表現で要求が実現すると定着も

# 時には、代弁して表現する

子どもが言葉で表現できないことを認識する

◎～して

◎～したい

◎～ほしい

◎～だといいな

※社会性があり、場をわきまえずに要求する  
子はたしなめる必要がある

# いっしょに

人への関心を持たせ、社会性を育てることば

## 【ひとを発見する】

理解していない子どもは→

- ・ほかの子といっしょにやれない
- ・一人勝手 ・注意されてもわからない

# はんぶんこ

相手への思いやりをうながすことば

理解していない子どもは→

- ・お菓子をあげられない
- ・おもちゃを貸せない
- ・強引に取り上げる
- ・自分の椅子など場所にこだわる

☆無理やりにでも「はんぶんこ」させる

理解していない子どもは→

- ・ひとに優しくできない(物をあげられない)
- ・順番を譲れない
- ・応援したり、慰めたりできない

☆あげる体験をさせ、「お兄さん、お姉さん」とほめる。貰ったときにいっしょに喜ぶ

# 他の子と折り合えない

○はんぶんこ(わけあう) 2歳

○順番(機会の平等) 3歳

○じゃんけん(ルール) 4～5歳

○多数決 6歳

# 大きくなったね

自分への見方を肯定的にすることは

「もう赤ちゃんではない」という思い

# 「みて！みて！」の時期

- 社会的承認欲求の発生
- 認められることで安定
- 評価を高めたいとの向上心をはぐくむ
- 学習能力の向上
- 社会性の成長

# 感情をコントロールできない

- 気に入らないと、すぐに泣く、騒ぐ
- すぐに手や足が出る
- 相手が嫌がってもやめない
- 意見が通らないと、ふてくされる
- 人の話を聞けない
- 大勢の場所にでると、大はしゃぎする

# 2種類の感情

## 個人的感情と社会的感情

(社会的感情)

恥、罪、憧憬、畏敬、尊敬、自尊心など

☆2歳前後から始まり、5～6歳で明確に

「～できないと恥ずかしい」

「～しないと、カッコわるい」と思う

# 社会的感情をはぐくむ

◎社会的承認欲求を満たす

お兄さん、お姉さん

できた、上手、上手になった

◎恥や憧れの気持ちをはぐくむ

恥ずかしいね、かっこいいよね

◎年長者への畏敬、尊敬の念を持たせる

教えてくれる、えらい、仕事ができる

# ～の仕事

物事の決定権を教えてくれることば

誰が決めるのか

誰の役割か

誰が係りか

# 決定権を誤解する子

- 帰り際になると騒ぐ
- 予防注射を嫌がり、大騒ぎをする小学生
- 他の人に抱きつく
- 先生に白い靴下をはかせる
- 「貸して」といいながら、ひったくる
- 他の人が歌うと怒る

# 決定権を誤解させない(1)

## 【誰が決めるのか】

- 決定権を明確にする
- 「～は先生が決めます」と明確に伝える
- 子どもにも決定権があることを伝える
- 子どもの成長に合わせ裁量権を広げる

# 決定権を誤解させない(2)

## 【自他の分離を促す】

自分と他者の分離

## 【上下関係から役割関係に】

指示—命令関係ではなく、  
相互に役立つ関係へ移行させる

# 理由がわからない

- 何度叱られても、変化しない
- 叱ると、すぐにパニックになる
- 理由を聞いても表現できない
- 理由を聞くと、怒り出す
- 人の意見を聞こうとしない
- 自分の考えを変えられない
- 人から教われない

# 疑問詞の理解と発達

○何、誰⇒どこ⇒どうやって⇒いつ  
⇒どうして、なんで

- 「なんで、どうして」と聞かない子
- 「～だから」と言わない子

# 理由表現を教える

◎選択させる(択一式)

A? B?

◎理由を聞く※取調べ風にならないように  
どうして?⇒どう思っていたのかな?

◎相手に理由を聞くよう、子どもに仕向ける  
～さんは何で〇〇したのかな?聞いてみて

# 残念、仕方がない

気持ちをコントロールする力をつけることば

# 自分の感じを絶対、不変と思う

- 嫌だから運動しない
- キライなことはしなくいい
- 暑いから歩けない
- 嫌なにおいでムカムカする
- まずいから食べない
- うるさいから、工場では働かない
- 疲れるから働きたくない

# 「感じ」と「感じ方」

自分の「感じ」と「感じ方」は違う

暑い、痛い、疲れた、まずいと、感じる自分

◎どう感じたらいいのか・・・社会性との関係

# あきらめられる子に育てる

## ○諦められるようにする

残念、仕方がない、しょうがない

## ○柔らかな見方を育てる

「～かもしれない」

「たぶん」「おそらく」

レジリエンスを育てる

# レジリエンス・・・回復する力

◎子どもが本来持っている力

◎ストレスに負けない心

◎社会に適応できる力

【参考文献】

- |                                     |                   |
|-------------------------------------|-------------------|
| ☆湯汲 英史著「子どもを伸ばす関わりことば26」            | すずき出版 2006年       |
| ☆湯汲英史編著「発達障害をもつ子への保育・子育て支援」         | 明治図書2006年         |
| ☆湯汲 英史著「切りかえことば22」                  | すずき出版2007年        |
| ☆湯汲英史著「発達促進ドリル」①巻～⑩巻                | すずき出版 2007年～2008年 |
| ☆湯汲・小倉共著「決定権を誤解する子・理由を言えない子」        | かもがわ出版2009年       |
| ☆湯汲英史編著「保育に役立つ発達過程別の援助法」            | 日本文化科学社2009年      |
| ☆湯汲 英史編著「ことばの力を伸ばす考え方・教え方」          | 明石書店2010年         |
| ☆湯汲 英史編著「発達障害のある子と話す27のポイント」        | かもがわ出版 2011年      |
| ☆湯汲 英史著「関わりことば26 コミック版」             | すずき出版 2013年       |
| ☆湯汲 英史著「切りかえことば25 コミック版」            | すずき出版 2014年       |
| ☆坂爪一幸・湯汲共著「知的障害・発達障害のある人への合理的配慮」    | かもがわ出版 2015年      |
| ☆湯汲 英史著「0歳から6歳 子どもの社会性の発達と保育の本」     | 学研 2015年          |
| ☆湯汲 英史著「保育45のことばかけー1歳からの発達に応じた関わり方」 | 合同出版 2016年        |
| ☆湯汲 英史著「0歳から6歳 子どもの発達とレジリエンス保育の本」   | 学研 2017年          |
| ☆湯汲 英史著「表現することは生きること」               | かもがわ出版 2018年      |